

会議名	平成 31 年度第 6 回海老名市市民活動推進委員会
日 時	平成 31 年 3 月 9 日（土） 9：30～12：30
場 所	えびな市民活動センタービナレッジ 301 会議室
出席者	市民活動推進委員会委員 7 名 堀尾委員長、根岸副委員長、大島委員、内山委員、瀬戸委員、勝田委員、遠藤委員 事務局 4 名 中島課長、山本係長、古賀主査、井上

会議概要

1 開会（進行 事務局）

2 委員長挨拶

堀尾委員長

3 議題

（1）プレゼンテーション審査方法について

9 項目の基準について各 5 点満点で評価を行い、合計で 45 点満点とする。各委員が各団体に対して行った採点結果から平均点を算出し、合否を決める。27 点以上を補助の対象とし、27 点未満は補助の対象外とする。

（2）プレゼンテーション審査

① えびなえんぴつの会

区 分：入門編

事業名称：自主夜間中学「えびなえんぴつの会」

申 込 額：100,000 円

事業内容：週 2 回 小中学校レベルの 5 教科を支援

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

（委員） 固定教室設置のために行う、団体の取組みを教えてください。また、教材について、負担を感じるとのことであるが、これは教材等を作成する中で、費用等の面から負担と感じるのでしょうか。

（団体） 固定教室については、教育委員会に依頼を行いました。現状厳しいとのご意見でした。現在はコミセンを利用しておりますが、他団体との重複など、必ず部屋を確保できる訳ではありません。

教材については、経済的な面から負担と感じております。現在、カセットテープ等は自費で賄っているため、今後、補助金等で補えればと考えています。また、教材はスタッフが持っているものを流用しているため、内容が古いものもあります。

(委員) 団体の収入は、会費と寄付となっています。スタッフの増員や支援者といった、団体を支える方を増やすことも重要と思いますが、その点についてはどのような働きをしているのでしょうか。

(団体) 他団体の総会等に参加をし、当団体の PR や増員、協力等について行っております。団体としても、その点については今後の課題と認識しています。

(委員) 厚木市にある同様の団体は固定教室を持っているとのことですが、その点についてお伺います。

(団体) 厚木市の団体の場合、市が持っている使わなくなった部屋を使用しています。そちらは、大部屋のため、多くの方が参加しているとのこと。是非、海老名市でも空き教室等あればお貸しいただければと思います。

<審査終了、委員は採点を実施>

② 海老名おやじの会

区 分：入門編

事業名称：大人の発達障がい啓発活動事業（勉強会）

申 込 額：100,000円

事業内容：・過去、現在、未来の詳らかに法制度を交えながら語り、発達障がい児者の生きづらさを伝える

・発達障がいの早期理解、早期支援と自己理解についても啓発していく

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

(委員) 今後、外部講師を招聘するとのことですが、その方へ謝礼を支払う際の財源や、どの講師に依頼するか等、決まっていれば教えていただきたいと思います。

(団体) 当団体のスーパーバイザーである川崎医療福祉大学 諏訪利明氏を考えています。謝礼については、具体的には検討しておりませんが、神奈川県自閉症協会と連携を取りながら考えていきたいと思っています。

(委員) 事業予算の約8割がパソコン機器に充てておりますが、事業の実施及び会の自立に向けた取組みについてお伺いします。

(団体) 会員の増強や年会費の増額等を行い、自立に向けた会の運営をしていきたいと思っています。また、増額等する場合は、会が行う事業等に見合った額にしていきたいと思っています。

(委員) 会員が23名いる中で、会長が会計を兼務しておりますが、これはあまりよろしくないと思います。

(団体) 会員の多くが、学齢期を迎えた子どもの父親です。休日に会の活動をしておりますが、育児等により、会の仕事の多くを引き受けることが難しい現状があります。そのため、会長が会計を兼務しております。しかし、学齢期を過ぎた後は、子育てに費やす時間が減るため、会員に対し、会の仕事を割り当てていく予定です。

(委員) 将来的な会の運営計画や目標等を教えていただければと思います。

(団体) 1つの目標としては、約10年を見据えた中で、当事者会の設立を行い、家族支援、起業への就労に結びついた支援などを実施していきたいと思ひます。また、そのためには関係各所との連携を深めていく必要があります。今回申請させていただいた啓発事業を強化することで、目標に向けたステップアップをしていきたいと思ひます。

(委員) 今回の事業の実施に向けたチラシの配布先についてお伺ひいたします。

(団体) 市内公共施設各所、社協等に配架・配布する予定です。また、海老名市障がい福祉課との連携を取りながらその他の配架・配布先を検討していきたいと思ひます。

③ 大谷四区親睦会

区 分：発展編

事業名称：鯉のぼり事業

申 込 額：100,000円

事業内容：・休耕地を利用した鯉のぼりの設置・撤収
・鯉のぼりまつりの実施

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

(委員) 鯉のぼりの数が減少しているとのことですが、破損等した鯉のぼりの対応についてお伺ひいたします。

(団体) 軽微な破損については、ミシン等を用いて対応していきたいと思ひます。天候が荒れると、50~60匹の鯉のぼりが落下、破損します。購入する場合、1匹につき1万円前後するので、寄付の呼びかけは継続して行います。

(委員) 今年で19回目となりますが、どのようにして事業を継続してまいりますか。

(団体) 会員も高齢化しているため、昨年は鯉のぼりを掲揚するためのポールを竹に代用して実施しました。軽量且つ耐久性等も十分にあるので、今後も使用していきたいと思ひます。また、大型の鯉のぼりは、最近持っているご家庭も少ないので、小型の鯉のぼりを多く使用して、見栄えを良くしていきたいと思ひます。

(委員) 他の地域で行う同様の事業では、鯉のぼりの数集めや設置方法については、どのようにしているのでしょうか。

(団体) 具体的には把握しておりませんが、厚木市も竹を使用していると聞いております。相模原市では破損した鯉のぼりの修理を毎回しているとのこと。

(委員) 今回、発展編ということで、上限額が30万円としておりますが、提出いただいた申請書のとおり、平成31年度は10万円の申請ということでしょうか。

(団体) 皆様からの寄付及びあるものを用いて、費用を多くかけないで実施することを会の方針としていますので、今年10万円の申請をさせていただきました。

(委員) 鯉のぼりを掲揚することは、日本の伝統でもあるので、是非今後も続けていただければと思ひます。しかし、先を見据えたことも考えていく必要があるため、補助金がなくなった後の事業の継続や、団体内部の高齢化問題も検討していただきたいと思ひます。

(団体) 鯉のぼりの寄贈の呼びかけの強化や、高齢化等についても取り組んでいきたいと思ひます。

<プレゼンテーション終了、委員は採点を実施>

④ 男女平等市民の会・海老名

区 分：発展編

事業名称：「映画と講演から、LGBT を学ぼう！」

申 込 額：128,000円

事業内容：映画の上映及び講演会

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

(委員) 海老名市との共催については、どうなりましたでしょうか。

(団体) 申請書を提出した時点では、共催について協議等を重ねている段階でした。共催の場合、市も主催扱いとなるため、補助金は使用できないことから、後援という形となりました。不足分等については、会からの持出しとします。

(委員) チラシを増刷するというのであれば、その分費用も増えることかと思いますが、どのくらいの増額がありますか。

(団体) 約1万円の増額となります。その分については、会からの持出しとします。

(委員) 平成29年度に当補助金を活用して、LGBTの講演会を行いました。今後はどのような活動を計画しておりますか。

(団体) DVや男女平等に関することなど、テーマを決めながら活動していく予定です。

平成29年度に実施したLGBTの講演会は、大人の参加者が多かったのですが、今年は多くの若い方にも参加いただければと考えております。

(委員) これから、海老名市とどのような関わりを持つ予定ですか。計画等あれば教えてください。

(団体) 海老名市との共催ができそうな事業等も視野に入れながら、今後の方策を考えていきたいと思っております。

<プレゼンテーション終了、委員は採点を実施>

⑤ NPO 法人 grand-mere

区 分：発展編

事業名称：夏休み交流イベント

申 込 額：300,000円

事業内容：「木工」「陶芸」「油絵」に関する講師を呼び、子どもたちに体験してもらう

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

(委員) 前回実施した際より講師料及び昼食代が増加しておりますが、その要因は何でしょうか。

- (団体) 人数が2名に増えております。また、講師料も2名それぞれ均一というわけではなく、棟梁と弟子のような関係の場合、1名あたりの値段は異なりますので、バラつきはあります。昼食代については、一般的な値段より高いかと思っておりますので、検討します。
- (委員) 事前質問では、他会場への検討について伺いました。その際の回答が「他会場も検討する」とのことでしたが、その後、この件についてはどうなりましたでしょうか。
- (団体) 内部で検討を十分に詰めておりませんが、駐車場や立地を考えるとビナレッジの方が良いと考えております。しかし、市内小中学校の使用について、今後も引き続き検討していきます。
- (委員) 当該事業は継続的に実施してはいましたが、補助金を使用してどのようにして変化しますか。
- (団体) 講師の増員や、地域の人も参加対象とする等、規模を大きくすることで多くの方に体験していただきたい、当該事業を発展させたいと考えております。今までは、事業所の範囲内など、小規模で実施してはいました。
- (委員) 地域の子どもたちも参加対象としますが、彼らに周知を行うために、どのような方法を採用しますか。
- (団体) チラシを作成し、公共施設や保育園等への告知も行います。また、grand-mereに通う子どもや、その兄妹等にも周知を行う予定です。

<プレゼンテーション終了、委員は採点を実施>

⑥ 河骨保護の会

区 分：発展編

事業名称：絶滅危惧の水生生物コウホネの保護・育成

申 込 額：57,527円

事業内容：定期的な巡回、移植した場所に看板等の設置、草刈り、ゴミ拾い等

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

- (委員) 上今泉地区にあるコウホネ保護の看板等が見えづらく、看板としての強度も脆弱なものとなっています。補助金の申請に看板作成費が含まれているため、補助の交付対象となった場合は、長期間の使用に耐えうる頑丈なものを作成いただきたいと思います。
- (団体) 承知しました。
- (委員) 会員のうち、上今泉在住の方が1名で、その他の方は中新田に在住となっています。上今泉地区のコウホネは誰が管理しているのでしょうか。
- (団体) 自治会に管理していただいています。
- (委員) 人々の関心が無ければ、コウホネ等の絶滅危惧種は消滅してしまう恐れがあります。活動を周知・PRするために、どのようなことを行っていますか。
- (団体) 市の環境展や市内活動団体が実施するイベントに積極的に参加して、啓発活動及びPR活動を実施しています。参加することで、ご意見等をいただくことがあり、会と

しても勉強になることが多いです。

<プレゼンテーション終了、委員は採点を実施>

⑦ ほっとフェスタ実行委員会

区 分：発展編

事業名称：「ほっとフェスタ 2019」

申 込 額：300,000円

事業内容：各種団体が参加し、来場者に対して暮らしを補う施設やサービスなどのご案内、生活ニーズの要求や相談の場を提供する

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

(委員) 2014年に名称を変更しましたが、その理由は何でしょうか。

(団体) 前名称のとき、一目見て、何の催しを行っているのか分かりにくかったので、より分かりやすい名称としました。

(委員) 今回、初めて補助金に申請しましたが、その理由についてお伺いします。

(団体) 今まで当該事業を実施していく中で、「予算がもっとあればより良いものができた」と思うことが多くありました。昨年事業を実施した中で、より多くの方に当事業を広めたいと思ったこと、スタッフが不足していることが課題としてありました。この部分を補いく、補助金申請をしました。

(委員) チラシの制作枚数が6万枚とのことで、海老名市の世帯数を超えています。内訳を教えてください。

(団体) 5万枚は市内全世帯、1万枚は出店者配布用及び手持ち分となります。

(委員) 加入される保険についてお伺いします。

(団体) 1日のみのイベント保険となります。保険会社より「協賛」という形で、イベント保険を当該事業に提供いただきます。1日あたり5,000円～10,000円の商品となります。

(委員) 団体としての今後の計画について、お伺いします。

(団体) 今回行う事業は継続して行っていきたいと考えます。また、様々な部分で、発展しながら事業の継続をしていきたいと考えます。

<プレゼンテーション終了、委員は採点を実施>

(3) 審査まとめ

①審査の合否について

補助金審査通過団体

(1)えびなえんぴつの会

(2)海老名おやじの会

- (3)大谷四区親睦会
- (4)男女平等市民の会・海老名
- (5)NPO 法人 grand-mere
- (6)河骨保護の会
- (7)ほっとフェスタ実行委員会

□補助金審査不通過団体

- (1)NPO 法人南えびなスポーツクラブ
- (2)（一社）海老名扇町エリアマネジメント
- (3)海老名発 女性の活動を応援する会

②補助金額について

□補助金審査通過団体

- (1)えびなえんぴつの会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100,000 円
- (2)海老名おやじの会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100,000 円
- (3)大谷四区親睦会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100,000 円
- (4)男女平等市民の会・海老名・・・・・・・・・・・・・・・・ 128,000 円
- (5)NPO 法人 grand-mere・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 300,000 円
- (6)河骨保護の会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57,000 円
- (7)ほっとフェスタ実行委員会・・・・・・・・・・・・・・ 300,000 円

査定額合計 1,085,000 円

4 今後のスケジュール

最終答申：3月15日（金）11時30分～
海老名市役所3階 市長応接室

5 閉会（進行 事務局）